

～中学校区の特色を生かした小中一貫教育～

くすは縄手南校の特色ある取組み



小中一貫教育推進室だより「TSUNAGU」では、子どもたちの様子や学校園の取組みなど、市内における小中一貫教育をはじめとした連続・一貫した教育活動の状況を発信していきます。

くすは縄手南校は前期課程(1～6年生)と後期課程(7～9年生)からなる施設分離型の義務教育学校です。両校舎は800m離れていますが「自分に誇りを持ち 未来を切り拓く子ども」の育成という一つの目標に向かって『つながり』を大切にした教育活動を進めています。教職員のつながりとして、前期課程と後期課程が共に会議や研修、授業参観そして授業研究を行っています。“みんな(全教職員)で、みんな(1～9年生)を見る”ことを意識しつつ、視座を高めることに努め、児童生徒理解を大切にしながら日々の教育実践に取り組んでいます。

“思いやり”と“あこがれ”でつながる9年間～未来を切り拓く力の育成～

児童生徒は、毎月の「くすは集会」や「清掃交流」をはじめとした取組みをとおして、つながりを持っています。そして、つながる取組みの一つに「地域防災DAY」があります。「地域防災DAY」は自分たち一人ひとりが「助けてもらう存在だけではない」という当事者意識を持って行動できるようになってほしいという思いから、1～9年生、保護者・地域の方とともに毎年11月に実施しています。それに向け3年生以上は未来市民教育で防災学習に取り組み、学びを深めます。異学年交流をとおし“思いやり”と“あこがれ”のシーンが数多く生まれる「地域防災DAY」。教えてもらっていた1・2年生が数年後には思いやり、そしてあこがれられる側となり、学校・地域そして未来の役割を担う立場へと成長していきます。



1・8年生

- ★防災グッズづくり
- ★段ボールベッド体験



3・6年生

- ★防災ブックづくり
- ★避難所体験
- ★消防車見学



8年生

- ★避難所案内



炊き出しや消防車登場など、地域をはじめ多くの方の協力がいっぱい！



2・5年生

- ★自然災害学習
- ★可搬ポンプ・消火器体験



4・7年生

- ★備蓄品の学習
- ★避難所体験



9年生

- ★炊き出し
- ★保護者・地域案内 (AED・段ボールベッド 放水・炊き出し・避難所)



“思いやり”と“あこがれ”の先には…

1～4年生のふり返りより

- ・5年生がやさしく教えてくれた。
- ・6年生がやさしかったし、かつやくしててかっこよかった。
- ・7年生の発表したのがレベル高くてビックリした！
- ・8年生が楽しめるように盛り上げながら説明しててすごかった。
- ・自分も大きくなったらやりたい！

地域の方へのアンケートより

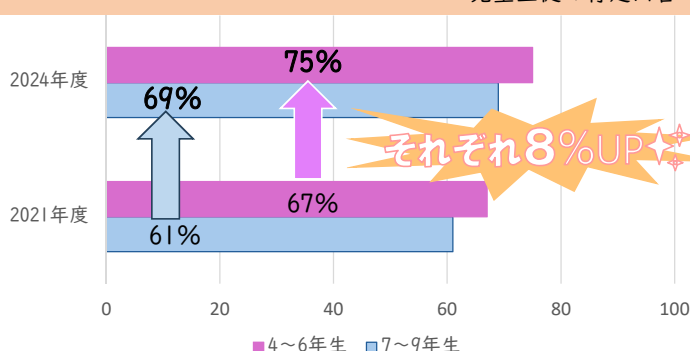
- ・開始からとても細々とした気遣いがありまた説明も分かりやすかったです。
- ・チームワークもバッチリで明るく元気に案内してくれて楽しめました。
- ・素晴らしかったです。これからのこの地域を支えて頂けると感じました。

地域防災DAYが
今の形になる前

◇学びのトライアルアンケート

「あなたは人の役に立っていると感じることはありませんか」

児童生徒の肯定回答



子どもたちが様々な人とつながることで自己有用感を高め、自分に自信を持ち「未来を切り拓く力」を培っていきけるよう、全教職員で子ども理解に努めていきます。
※ウェルビーイング：「身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念」(教育振興基本計画より)